

令和5年1月26日
国土交通省関東地方整備局
富士川砂防事務所

工事発注手続きについて

～「R4中島砂防堰堤右岸斜面对策工事」他工事の発注手続きを行います～

富士川砂防事務所が発注する「R4中島砂防堰堤右岸斜面对策工事」「R4野呂川第三砂防堰堤改築工事」において、不調・不落対策を試行、採用します。

工事発注において、入札参加者がいないことなどを理由として、入札・契約手続きのとりやめが予測される工事について、不調・不落対策を試行しています。

今回発注する「R4中島砂防堰堤右岸斜面对策工事」「R4野呂川第三砂防堰堤改築工事」については、以下の不調・不落対策を試行・採用します。

【対象工事】

1. R4中島砂防堰堤右岸斜面对策工事
2. R4野呂川第三砂防堰堤改築工事

【不調・不落対策】

- : ①、②、③、④
: ①、②、③

【不調・不落対策】

- ①公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- ②地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更
- ③余裕期間制度（フレックス方式）
- ④見積活用方式

※詳細は次頁以降をご覧ください。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、山梨県記者クラブ、長野県庁会見場、長野市政記者クラブ、長野市政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 富士川砂防事務所

電話：055-252-7108（代表） FAX：055-252-1956

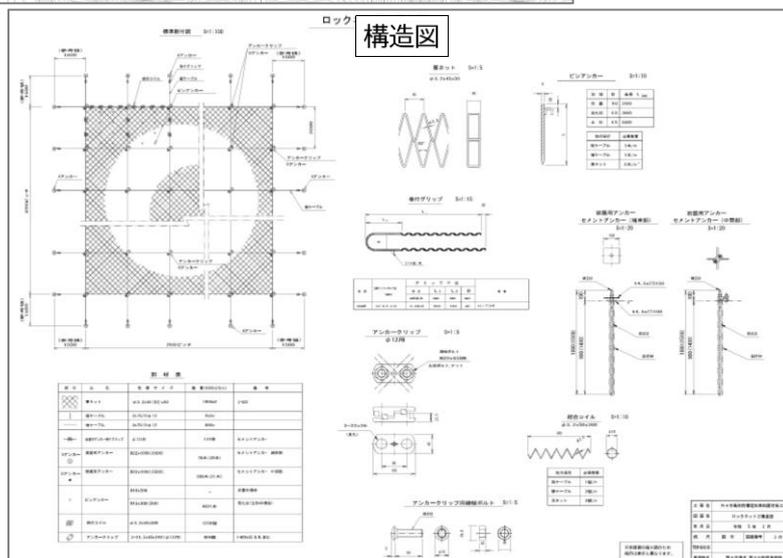
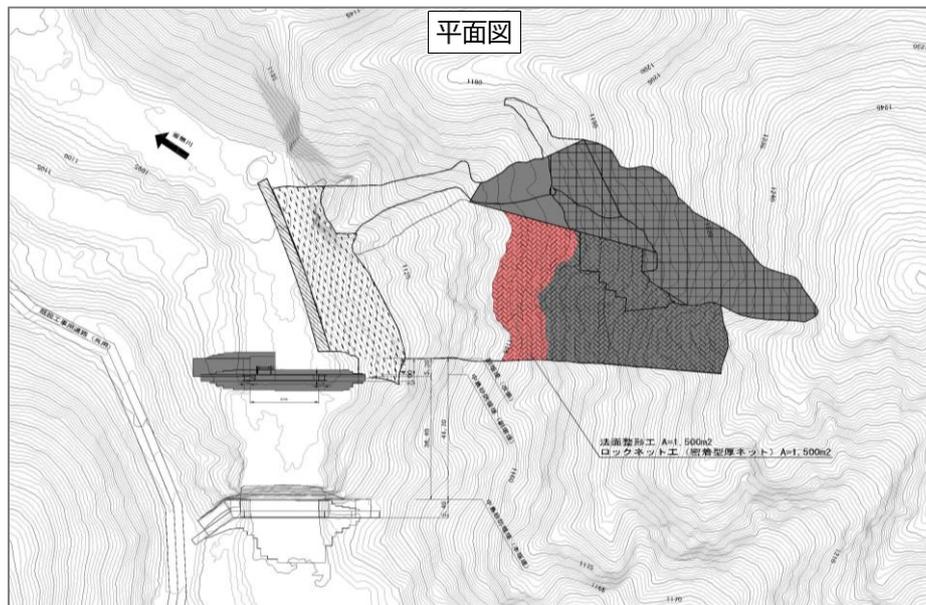
副所長（技） 飯原 征敏（いはら まさとし）（内線：204）

工務課長 石北 肇（いしきた はじめ）（内線：311）

《工事概要》

- (1) R 4 中島砂防堰堤右岸斜面对策工事
- (2) 施工場所：山梨県北杜市白州町鳥原地先
- (3) 全体工期：契約締結の翌日から令和5年12月20日まで
(余裕期間制度（フレックス方式）)
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札（総合評価落札方式）地域防災実績評価型
- (5) 工事種別：法面処理工事
- (6) 工事内容（概要）：

斜面对策	1式
法面整形工	約 1,500m ²
落石防止網工	約 1,500m ²
仮設工	1式



《不調不落対策》

- ①公募型指名競争入札（総合評価落札方式）地域防災実績評価型
競争参加者が少数と見込まれる工事について、対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。
なお、総合評価は災害活動実績及び賃上げの実施を加算点としています。
- ②地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更
「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用について、その妥当性を確認のうえ設計変更の対象とします。
営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上費
労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事・通勤等に要する費用

構成費目		率分に含まれる主な項目
営繕費	借上費	建物を建築する代わりに貸しビル、マンション、民家等を長期借上げした場合に要した費用
	宿泊費	労働者が、旅館・ホテル等に宿泊した場合に要した費用
	労働者送迎費	労働者をマイクロバス等で日々当該現場に送迎輸送するために要した費用
現場管理費	労務管理費	募集・解散費、賃金以外の食事・通勤等に要する費用

③ 余裕期間制度（フレックス方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保の準備を行うことができる余裕期間制度を採用します。契約時に令和5年12月20日までの間で受注者は工事の始期・終期を任意に設定することができます。監理技術者等の配置が不要となります。なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者の配置が不要となります。

また、余裕期間内は工事契約款第11条に定める現場代理人の常駐を要しません。

④ 見積活用方式

○ 見積の提出を求める工種

直接工事費の「仮設工－機械設備工」のうち、ケーブルクレーンに係わるもの。

見積書は、公告資料にある見積依頼書に従い提出を求めるものとします。

○ 見積の提出を求める理由

施工にあたっては、山間部における急峻で狭隘な箇所での施工となるため、作業効率が低下することが懸念されます。

このため、標準的な積算と実施価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

《スケジュール》

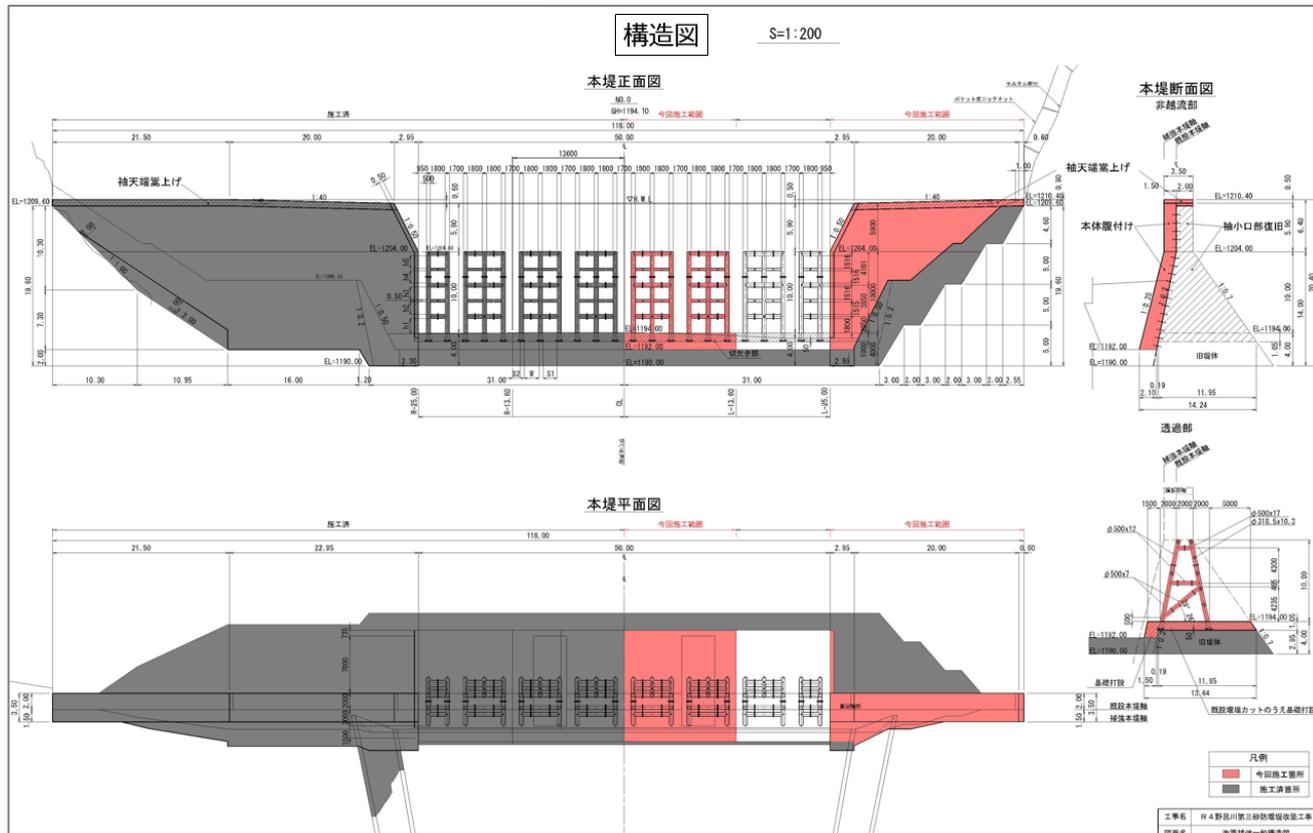
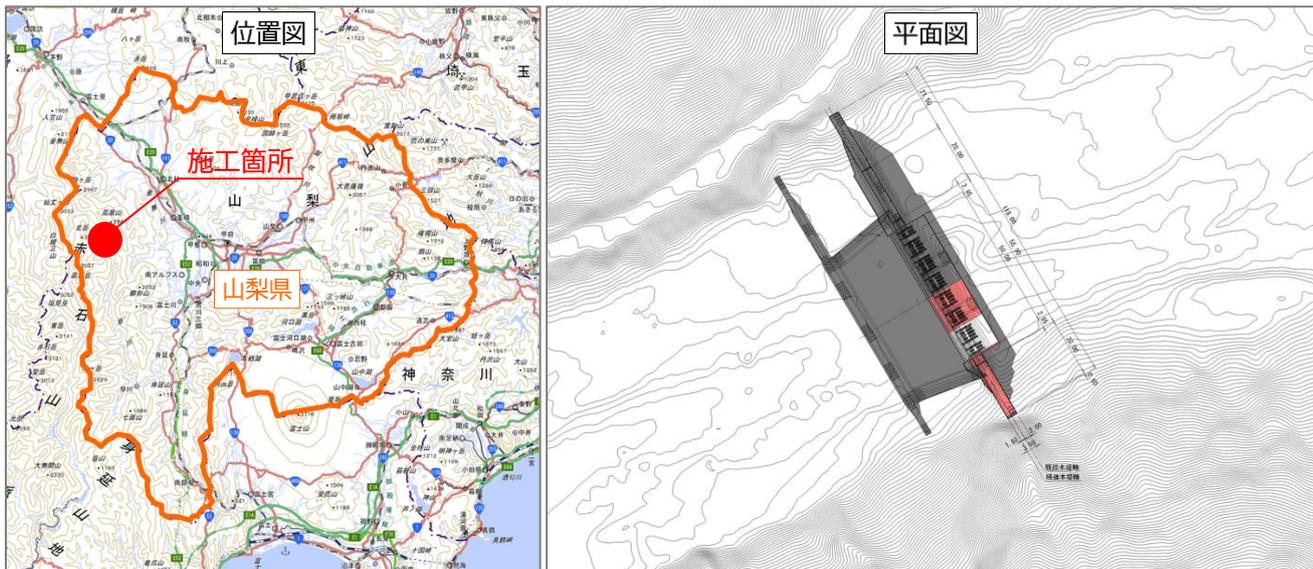
- 入札公示、入札説明書 交付 : 令和5年 1月26日 (木)
- 競争参加資格確認申請書・見積書 提出期限 : 令和5年 2月 9日 (木)
- 入札書・工事費内訳書 提出期限 : 令和5年 3月13日 (月)
- 開札日 : 令和5年 3月15日 (水)

工種	単位	数量	令和5年												備考
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
準備工	式	1		■											・30日間
仮設工	式	1			■								■		・工用道路・仮橋 ・機械設備・ヤード造成
法面整形	m2	1,500				■									・高所法面掘削機(1pt)
ロックネット(密着型厚ネット)	m2	1,500				■	■	■	■	■	■	■			施工前準備(2pt)、各種アンカー設置(2pt)、ケーブル設置(3pt)、クリップ設置、金網設置(2pt)
後片付け	式	1											■		・20日間
制約条件 ・夏季休暇		—													・8月中旬

《工事概要》

- (1) R4野呂川第三砂防堰堤改築工事
- (2) 施工場所：山梨県南アルプス市芦安芦倉地先
- (3) 全体工期：契約締結の翌日から令和5年12月25日まで
(余裕期間制度（フレックス方式）)
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札（総合評価落札方式）地域防災実績評価型
- (5) 工事種別：一般土木工事 C等級
- (6) 工事内容（概要）：砂防堰堤改築

1式	1式	1式	約51t	約580m ³	1式
作業土工	鋼製堰堤工	鋼製枠	コンクリート	仮設工	



工事名 R4野呂川第三砂防堰堤改築工事
図名 改築堰堤一般構造図

《不調不落対策》

①公募型指名競争入札（総合評価落札方式）地域防災実績評価型

競争参加者が少数と見込まれる工事について、対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は災害活動実績及び賃上げの実施を加算点としています。

②地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更》

「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用について、その妥当性を確認のうえ設計変更の対象とします。

営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上費

労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事・通勤等に要する費用

構成費目		率分に含まれる主な項目
営繕費	借上費	建物を建築する代わりに貸しビル、マンション、民家等を長期借上げした場合に要した費用
	宿泊費	労働者が、旅館・ホテル等に宿泊した場合に要した費用
	労働者送迎費	労働者をマイクロバス等で日々当該現場に送迎輸送するために要した費用
現場管理費	労務管理費	募集・解散費、賃金以外の食事・通勤等に要する費用

③余裕期間制度（フレックス方式）》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保の準備を行うことができる余裕期間制度を採用します。契約時に令和5年12月25日までの間で受注者は工事の始期・終期を任意に設定することができます。監理技術者等の配置が不要となります。なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者の配置が不要となります。

また、余裕期間内は工事契約款第11条に定める現場代理人の常駐を要しません。

《スケジュール》

- 入札公示、入札説明書 交付 : 令和5年 1月26日 (木)
- 競争参加資格確認申請書 提出期限 : 令和5年 2月 6日 (月)
- 入札書・工事費内訳書 提出期限 : 令和5年 3月 6日 (月)
- 開札日 : 令和5年 3月 9日 (木)

工種	単位	数量	令和5年度										備考		
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
準備	式	1													・30日間
仮設工	式	1													・仮道路、仮橋 ・仮締切
作業土工	式	1													・掘削工(1pt) ・埋戻工(1pt)
鋼製堰堤本体工(コンクリート)	m3	580													・コンクリート工
鋼製堰堤本体工(鋼製スリット)	t	51													・鋼製部材組立・据付工(1pt) ・現場塗装工(1pt)
後片付け	式	1													・20日間
制約条件	お盆	-													・8月中旬

※余裕期間※任意で設定可

《余裕期間制度(フレックス)の活用について》
本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者があらかじめ設定した全体工期(余裕期間と工期を合わせた期間)の中で、受注者は工事の始期と終期を任意に設定することができます。
なお、工事の始期までの余裕期間は、監理技術者等の配置が不要となります。

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式・実績評価型)の試行について

【メリット】

- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争(総合評価落札方式・実績評価型)
→民間工事を含む施工実績及び災害活動実績を評価

